



# さとのご通信



## 十郷っ子の学力は？ 学習状況は？ ～生きる力を育むために～

子供たちの学力を把握する目的で毎年実施される全国学力・学習状況調査は、昨年度は実施が見送られましたが、今年度は5月に小学6年生と中学3年生を対象に行われました。

福井県は全国トップクラスの学力を維持し、東十郷小学校の平均正答率は、県や全国の平均を大きく上回っています（下表）。東十郷小学校では、県や市の分析結果を踏まえたうえで、独自に調査結果を分析し、今後の指導に活かしていきます。

◆教科に関する調査結果	国語		算数	
	全国平均・県平均との比較 今回の学力調査では、国語・算数ともに、県や全国の平均を2ポイント以上上回る結果となりました。国語に関しては、とくに優れた結果がみられました。	本校	◎	◎
	福井県 (%)	69	73	73
	全国 (%)	64.7	70.2	70.2

## 良好なこと、課題となること（全国・県と比較して）

国語	算数
〈良好なこと〉 ◎文中で漢字を正しく使うこと。[知識・技能] ◎目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。[思考・判断・表現] ◎目的を意識し、中心となる語や文を見つけて要約すること。[思考・判断・表現]  〈課題となること〉 ▲文中における修飾と被修飾の関係を捉えること。[知識・技能]	〈良好なこと〉 ◎示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断すること。[思考・判断・表現] ◎小数倍についての説明を解釈し、基準量を1としたときに、比較量が示された小数に当たる理由を説明すること。[思考・判断・表現]  〈課題となること〉 ▲複数の図形を組み合わせた図形の面積を、量の保存性・加法性を基にして比べること。[知識・技能] ▲データを二次元の表に分類整理すること。[知識・技能]

## 今回の結果を踏まえてこれから力を入れて取り組んでいくこと

### 国語の学習では

- 文章を書くときには、目的に合った構成を考えたり、主語・述語・修飾語の関係を意識したりする。
- 文章を書くときには、目的や意図を明確にして、読み手を意識した文章を書くようにする。また、適切な漢字・表現が使用されているか、自ら推敲できるようにする。

### 算数の学習では

- 図形を見て考えるときには、多角的な見方で捉えて説明できるようにする。
- データを分類整理するときには、複数の表やグラフを関連づけて説明できるようにする。

## 家庭での生活状況や学習環境は？

全国学力・学習状況調査では、「生活習慣や学習環境による質問紙調査」も行われました。その結果からも学力向上へのヒントを得ることができました。

### 良好なこと

	学校に行くのは楽しい	今すんでいる地域の行事に参加している	友達の考えを受けとめて、自分の考えをしっかりと伝えている	
本校 (%)	93.2	87.6	91.8	
福井県 (%)	87.5	75.4	85.3	
全国 (%)	83.4	58.1	82.6	
	国語の勉強が好き	国語の授業の内容がよく分かる	英語の勉強が好き	英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことが出来ている
本校 (%)	74.0	95.9	76.7	84.9
福井県 (%)	65.3	90.2	70.7	78.7
全国 (%)	58.4	84.2	68.3	74.6

### 課題となること

	1日当たり2時間以上ゲームをしている	自分には良いところがあると思う	家で計画を立てて勉強をしている	算数の勉強が好き
本校 (%)	56.2	69.9	64.4	54.8
福井県 (%)	45.8	80.6	71.2	67.5
全国 (%)	49.5	76.9	74.0	67.8

#### ◆児童質問紙調査より

- ◎「学校に行くのは楽しい」と答えた児童が93.2%と県や全国の平均を上回っています。このことから、十郷っ子は友人関係や基礎学力が安定していて、学校や学級の中で自分の居場所をしっかりと持っていると思われます。
- ◎「地域の行事に参加している」と答えた児童は、県や全国の平均を大きく上回っており、地域とのつながりが深く、地域が学びの場になっていると考えられます。
- ◎「自分の考えをしっかりと伝えている」と答えた児童が、県や全国の平均を上回り91.8%と高い数値を示しています。国語や英語の授業などでも、友達の意見をきちんと聞いた上で、自分の考えを伝えている様子が見られており、話しやすい認め合う雰囲気ができていると思われます。
- ▲「自分には良いところがある」と答えた児童は69.9%と県や全国の平均を大きく下回っています。児童が自己肯定感を高められるように、ポジティブ教育を推進しながら、学校生活の中で児童一人一人を認め、成功体験や達成感を味わうことができるようにしていきます。児童自身が認められていると感じられるように、ご家庭でもご協力をお願いします。
- ▲「1日当たり2時間以上ゲームをしている」と答えた児童が、県や全国の平均を大きく上回っています。また、「スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と答えた児童の割合は平均をやや下回っており、「使い方についての約束がない」と答える児童の割合は平均をやや上回っています。「家で計画を立てて勉強をしている」と答える児童が平均を下回っていることも含めて、ゲーム機やスマートフォンなどの使い方を、今一度見直す必要があると思われます。
- ▲「算数が好き」と答える児童の数値が低くなっています。授業が分からなければ、勉強は好きになれません。楽しく分かる授業をするために努力していきます。